しまねの郷づくりカルテ・分析と診断について

●総合診断の評価方法【(A+B) + C】

A : 「人口データ」(国勢調査を基にしたもの)による評価

- ① 人口数、②世帯数、③高齢化率、④生産年齢人口率、⑤若年層率、
- ⑥人口増減率、⑦4歳以下人口比率、⑧定住必要数(千人あたり)、
- ⑨20~30代女性率、⑩高齢者単身世帯数

B : 「暮らしの条件」による評価(分野毎のデータに係数を加味)

- ① 交通(交通空白地域の人口割合)
- ② 買い物(店舗等の状況)
- ③ 福祉(介護サービスの状況)
- ④ 農業(直払い協定面積割合)
- ⑤ 医療(救急告示病院への時間距離)
- ⑥ NPO(NPO数)
- ⑦ 公民館(地域力醸成P実施数)
- ⑧ 教育(小学校の有無+高校への時間距離)
- ⑨ ブランド(産直市の数)

C : 「地区の取組状況」による評価

緊急性、必要性、モデル性等について、市町村等の意見を考慮し評価

「しまねの郷づくりカルテ」診断の目安

A:「人口データ」	B:「暮らしの条件」	C:「地区の取組状況」
厳しい地区 (A1)	厳しい地区 (B1)	例)人口・条件も 人材・組織も厳 しい地区(C1)
	厳しい地区 以外(B2)	例)人口・条件 のみ厳しい 地区(C2)
厳しい地区 以外(A2)	厳しい地区 (B1)	
	厳しい地区 以外(B2)	例)人材・組織 のみ厳しい 地区(C3)

+

- レーダーチャート等による分野毎の現状分析と対策の方向(1次処方箋)をPT等で議論